

平成28年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業
(発達障害早期支援研究事業)

成果報告書(概要版)

実施機関名 長野市教育委員会

1. テーマ

発達障害が疑われる児童生徒の早期支援にかかわる、支援情報の引継ぎや活用、適切な授業づくり、教員等の連携のあり方について実践研究を行う。

2. 問題意識・提案背景

長野市では、平成21年度より、「特別支援教育研究協力校」事業を開始し、特別な教育的支援を必要とする通常の学級の児童生徒への指導・支援を推進するための「**長野市特別支援教育さんさんプラン**」の実践的研究を行った。

また、平成27年度は「発達障害早期支援事業」(以下、本事業と表記)の委託を受け、発達障害支援アドバイザー(3人)が、研究指定校(12校)を巡回し、児童・生徒の実態把握や、教員に対し指導助言を行ってきた。

その結果、課題として残った点は、以下のとおりである。

- (1) 発達障害の早期発見と早期支援の具体的な方策
- (2) 学校全体での支援力の向上
- (3) 支援情報の共有のあり方

3. 目的・目標

- (1) 支援の必要な児童生徒をどのように発見し、どのような支援につなげたか具体的な例をもって、明らかにする。

例：スクリーニングの実際

- (2) 学校全体としての支援力の向上を目指す。

例：教師の自己評価 互いに支援の内容を紹介し合い、取り入れる。

- (3) 通常の学級での支援の実際を、事例となる児童生徒を取り上げて、成果や課題を明らかにする。

※以上のことを発達障害支援アドバイザーの指導・助言を受けて、研究協力校で実施する。

4. 主な成果

- (1) 学校の実態に合った児童生徒の実態把握の方法。

①「読み書き状況把握ツール」(堀内澄江)を低学年全員に実施した例：小学校3校

②発達障害支援アドバイザーが学年全員のカウンセリング、エゴグラムによる性格傾向診断検査性格診断等を行った例：中学校1校

③1年生を対象に、教科担任・学級担任による行動観察や書字等の実態把握から支援の進み方を研究した例：中学校1校

④小規模校の強みを発揮し、支援の方向を全教員で共有し、支援につなげた例：小学校2校

○学校の規模やニーズによって、状況把握の方法は様々であるが、学校の体制整備や工夫によって、状況把握が可能であることが明らかになった。

(2) チェックリスト等を活用し、全教員が自分の支援のあり方を自己評価した例：
小学校5校 中学校1校

○教室環境については、改善意識が浸透しつつある。チェックリストを利用し、より詳細に検討することがより効果的だと考える。

(3) 特別な支援を必要とする児童・生徒への支援を実証する研究授業を行った学校。
小学校9校 中学校1校

(4) 発達障害早期支援研究事業運営委員会・担当者会の活動

期 日	運営委員会	担当者会	主な内容
5月24日（火）	第1回	第1回	本事業の内容の確認 研究方向
11月24日（木）		第2回	各校の進捗状況の確認 研究報告書作成について
1月12日（木）		第3回	研究報告書内容の検討
2月17日（金）	第2回		事例発表 研究の成果と課題

5. 指定校における取組概要

- (1) 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒の明確化 191回
- (2) 学習面（「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」）で困難を示す児童生徒に対する指導方法の改善・工夫 190回
- (3) 行動面（「不注意」「多動性－衝動性」）で困難を示す児童生徒に対する指導方法の改善・工夫 225回
- (4) その他 発達検査・性格検査等の実施・保護者や児童生徒との懇談・来入児の観察 保育園・幼稚園参観等 188回

※発達障害支援アドバイザー3人が12校を巡回して指導助言等を行う。1回の訪問で実施内容が複数にわたることがあるので、巡回件数と指導内容による件数とは一致しない。

※3人訪問回数合計 437回（1月31日現在）1校あたりの平均 35, 6回

6. 今後の課題と対応

- ・スクリーニングの方法・教員のセルフチェックリストについては、周知するとともに、何を選択するかを考える機会をとる。周知については、研究協力校の研究報告書を各校に配布するとともに、管理職研修・特別支援教育コーディネーター研修等で活用する。
また、研究報告書は、市内小・中学校がアクセスできるポータルサイトに掲載する。
- ・授業場面の支援については、優れた選考事例として、研修会等で紹介していく。
- ・発達障害支援アドバイザーの巡回を受けていた学校では、事業の終了を惜しむ声が多い。現

在、長野市で実施している「巡回相談員」に業務を移行していく。

7. 指定校について

(小学校) 研究協力校 10 校中の 1 校

研究校名： 長野市立豊野西小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	51	2	55	2	47	2	51	2	58	2	57	2
特別支援学級	2		1		0		4		1		5	
通級による指導の対象者数	0		0		0		0		0		0	
特別支援学級学級数	知的障害学級 1			自閉症・情緒障害学級 1								
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	14	1	2	0	1	2	0	2	24	

(中学校) 研究協力校 2 校中の 1 校

指定校名：長野市川中島中学校											
	第1学年				第2学年				第3学年		
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数
通常の学級	260		8		237		7		249		8
特別支援学級	12		1		8		1		11		1
通級による指導の対象者数	0				0				0		
特別支援学級数	知的障害学級 1			自閉症・情緒障害学級 3							
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	38	2	4	2	3	1	1	5	58

8. 問い合わせ先

組織名：長野市教育委員会事務局

- (1) 担当部署 学校教育課
- (2) 所在地 長野県長野市大字鶴賀緑町1613番地
- (3) 電話番号 026-224-5063
- (4) FAX 番号 026-224-5086
- (5) メールアドレス gakukyou@city.nagano.lg.jp